

八学大 乱打戦制す

北東北大学野球



北東北大学野球春季リーグ戦第3週第2日は28日、各地で1〜3部の計7試合を実施した。1部は首位の八学大が2位の青森大に6―13で勝利し、1位をキープした。

見せた。七回に投手陣がつかまつたが、相手の走者がタッチアップ時に離塁が早かったと判断され、窮地をしのぐ。すると、序盤につ

なかりを欠いた打線が八回裏に連打で3点を奪い、突き放した。

第4週は5月4、5日、各地で1、2部の計6試合を

実施する。1部は青森県宮球場で行い、八学大は青森大と対戦する。

（桑田友人）

【1部】

▽第3週第2日（洋野町種市オアシャンピュースタジアム）

岩手大（1勝5敗）	0000000003	23
青森大（2勝4敗）	0000200000	00
富山（3勝3敗）	0000000000	00

田中大暴れ 4安打

○：両チーム合わせて25安打が生まれた乱打戦で、八学大が真価を發揮した。

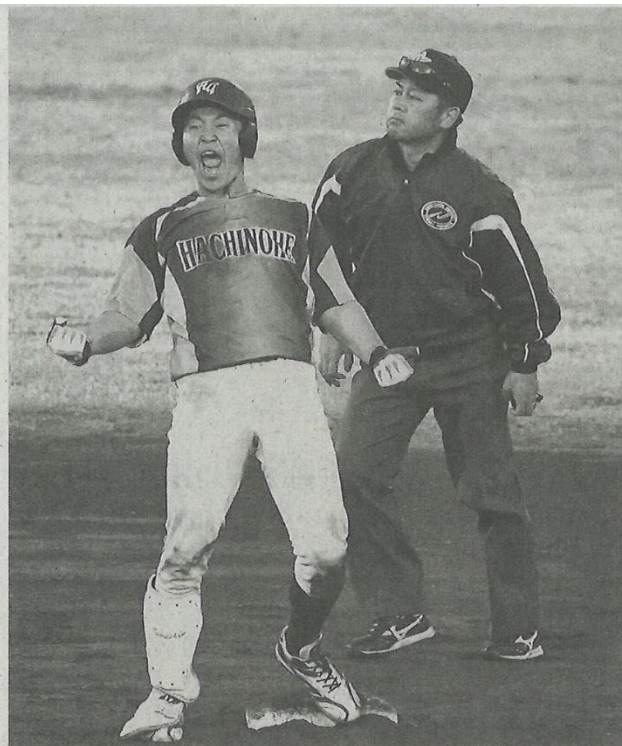
5打数4安打1打点と活躍した2番田中慎之助は「苦しい試合が続いていたの

で、投手陣を楽に勝たせてあげたかった」と、打線の奮起に胸を張った。

先制したが、打線がつかまつらず1点を争う展開に。粘投していた先発の小林直生が七回につかまつたが、相手の離塁ミスで何とか切り抜けた。

すると八回裏、足を絡めた攻撃と好調の田中の中前適時打などで3点を追加。首位を争う青森大に引導を渡した。

前日の試合が初スタメンだったという田中は「バッティングは苦手」としつつ「いい試合ができた」と満足げ。全勝にも「一戦一戦勝ち続けることだけを考える」と集中力を高めていた。



【1部・青森大―八学大】八学大は8回2死二塁、田中慎之助（左）が中前適時打を放ち、6―2とする＝洋野町種市オアシャンピュースタジアム

（岩）中野、菅、柴崎、播磨、鳥谷部、佐藤	0100000101	23
（富）安徳、長島、佐藤、坂本	0000100011	23
▽二塁打：千葉、大久保（岩）坂本、表谷（富）	0010000000	01
青中大（2勝4敗）	0000000000	00
ノース大（2勝4敗）	0000000000	00
（青）谷木、齋藤、崎野	0010000000	01
（〇）高橋、宮脇、高橋、田村	0000000000	00
▽三塁打：佐藤、土田（〇）▽二塁打：桐山、高木、片岡（青）佐藤（〇）	0010000101	03
青森大（4勝2敗）	01101003	16
八学大（6勝）	01101003	16
（青）金森、濱谷、鈴木大、鈴木	0010000101	03
（八）小林直、西山、粕谷、畠山	0010000101	03
▽三塁打：丹羽（青）▽二塁打：鈴木、八戸、櫻村（青）平尾、田中（八）	0010000101	03